



令和8年10月6日発行

学校だより

第10号

江戸川区立松江第三中学校

〈 教 育 目 標 〉

- 1 素直で明るい、心豊かな生徒
- 2 自ら進んで、よく学びよく働く生徒
- 3 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒

ちょっと考えたい！

校長 小澤 託

ちょうど1か月前になるでしょうか。憶えている方もいるでしょう。

2025年に実施した国際学習到達度調査(PISA)の調査結果が公表され、その分析された結果が新聞各紙・テレビで報道されました。

そもそも、この国際学習到達度調査(PISA)とは?となりそうですが。ある新聞では、「義務教育で学んだ知識を実生活の課題に生かす力を測る調査。2000年から3~4年ごとに実施されてきており、世界の91か国・地域で約76万人が参加し、日本では今年の6~8月に183校の高校で、1年生約6500人が参加した」と発表されておりました。

その結果、日本の平均得点は「読解力」世界で4位・「科学的応用力」と「数学的応用力」は世界で5位。

経済協力開発機構(OECD)に加盟している38か国に限れば、日本は3つの分野で1位だったと報告しています。

世界の中で上位に食い込んでいるのは、実に素晴らしいことだと思うのですが、世界的には3つの分野の平均点は前回よりも悪く、特に読解力の低下が目立ったそうです。日本は、というと、短い文章を速く正確に読む「読みの流ちょう性」の正答率が低下していたと報告しています…。

“読んで理解する力”は、様々なことを学んでいく上で、すべての土台であり、この土台となる“読んで理解する力”がなければ、将来を生きていく中で、不都合がでてくるのは間違いないです。ちなみに、本校の様々な調査結果(全国学力調査や区の学力調査の結果)に照らし合わせてみても、読むこと・書くことが、比較的苦手だという調査結果が出ております。

月に1冊も本を読まない高校生が6割近くいると何かの本で読んだ記憶があるのですが、おそらく本校でも月に1冊、もしかすると学期に1冊も読まない生徒がいるかもしれません…。SNSや動画の視聴に時間を使うのではなく、本や新聞などを読むことに時間を使ってもいいのではないのでしょうか。

秋が深まるこの季節。

せっかくですから本を選びに、学校の図書館や近くの本屋さんに行ってみるのはどうでしょう…。

蛇足ではありますが…

報道された記事の最後の行にこんな記載も…。

「日本のパソコンやネットなどを授業で利用する頻度は、OECD加盟国の平均より下で、学校の勉強でのAIの活用頻度もOECD加盟国の中では最下位だった」と。

保護者のみなさんは、どう思いますか？

～もう一回！！…～

9月中旬に、米国最高の医学賞と言われるラスカー賞を筑波大学の柳沢正史教授が受賞した、というニュースが出ました。オレキシシンという神経伝達物質を発見し、その欠乏が睡眠障害の原因となることを突き止めたことが高く評価されたとのこと。

今年のちょうど今頃、ある機会に横沢先生のお話を聞いたことがあって、それを学校だよりにご紹介したことがありました。ご紹介も込めて再掲させていただきます。

以下：再掲載（令和7年度10月23日 学校だより12号）

筑波大学の国際統合睡眠医科学研究機構の柳沢正史先生の講演を聞く機会があったのですが、睡眠と企業の利益率*も関連があって、8時間の睡眠が利益率に影響してくることを意識し、睡眠をしっかりとするよう推奨している企業があると言っていました。ちなみに、中学生の必要睡眠時間は9時間と言っており、夜のスマホなどの強い光は体にとって何一つ良いことはないの、寝る時はスマホなどを触らず寝るのがベストだと断言しております。さらに、食事についても、ラーメンや脂質の高い食事を摂っている人は睡眠の質は決して良くないので、栄養のバランスがとれた健康的な食事を摂るように話しておりました。

大事です。睡眠と食事!!

*利益率:売上高に対して企業の稼いだ利益がどれくらいの割合を占めるかを示す指標。企業の収益性や経営の効率性を測るための重要な指標と言われています。

～ 心遣いで、良い「場」をつくろう ～

いよいよ合唱コンクールが明後日に迫ってきました。

非常に楽しみです！昼休みや放課後に校舎内に響いてきたり、校庭から聞こえてきたりする歌声はたまらなく良いものです。また、先生方が“ここぞ”とばかりに発行する学級通信や学年通信の内容、学級で行われる合唱練習の時の熱血指導や激アツなメッセージは、教員を目指す学生のバイブルになるのではないかなと思えるような言葉と文章です。個人的には…、内容をまとめたら、本を出せるのでは？と思ってしまいます。

さて、この合唱コンクール（学校によっては発表会というところもあります）。素晴らしいホールをお借りして、今まで練習してきた成果を発表するためだけに行っているわけではありません。他のクラスや他の学年の合唱を聞き、その良さや素晴らしさを味わい、称え合うためのものでもあります。温かい雰囲気のを会場を全員で作、気持ちよく発表できるよう「聞く態度・マナー」も大切にしなければいけません。

ポイントは3つ

- ① 他のクラスや学年へのリスペクトをもつこと。全ての学級が様々な過程を経て、ステージにあがってます。そして、懸命に歌います。合唱の上手・下手ではなく、真剣に歌う姿そのものを認め、リスペクトしましょう。
- ② 私語（ひそひそ話や笑い声）は絶対にしないこと。他の人の迷惑になるだけでなく、合唱を発表する学級や学年に対しても、失礼です。メリハリをつけましょう。
- ③ 静寂を作りと拍手で称えること。静寂の中で合唱に耳を傾け、発表が終わったら、感動と頑張りを称えて温かい拍手を送りましょう。

【生徒の活躍】 秋季総体の結果などは次号でお伝えします。